

宮ヶ瀬ダム森と湖に親しむ旬間

宮ヶ瀬ダム内部見学会

フーチング階段



点検用の階段です。高さ約120m、段数約500段と なっています。
(監査廊までは約50m 約200段です。)



監査廊

ダム堤体の内部に設けられた点検や観測のため通路です。宮ヶ瀬ダムを効率よく安全に管理・運営するための、さまざまな管理設備や計測機器の点検・観測に使用しています。



■ 高位常用洪水吐



高位常用洪水吐設備はダム堤体を上下流方向に貫通する二本の放流管路の途中にあります。ダム水圧に耐えられる頑丈なステンレス鋼の扉が油圧によって上下に動き、管路内の水を流したり止めたりしています。

■ プラムライン



水圧や地盤の変形などにより、ダム堤体に生じるひずみを測定し、ダムの安全性をチェックする計器です。ダム上部からおもりを吊ったノーマルプラムラインと、岩盤からワイヤーを引っ張り上げたリバースプラムラインがあります。



点検時には、スコップを使ってワイヤーの位置のずれを0.1mm単位で計測します。

■ エレベータ

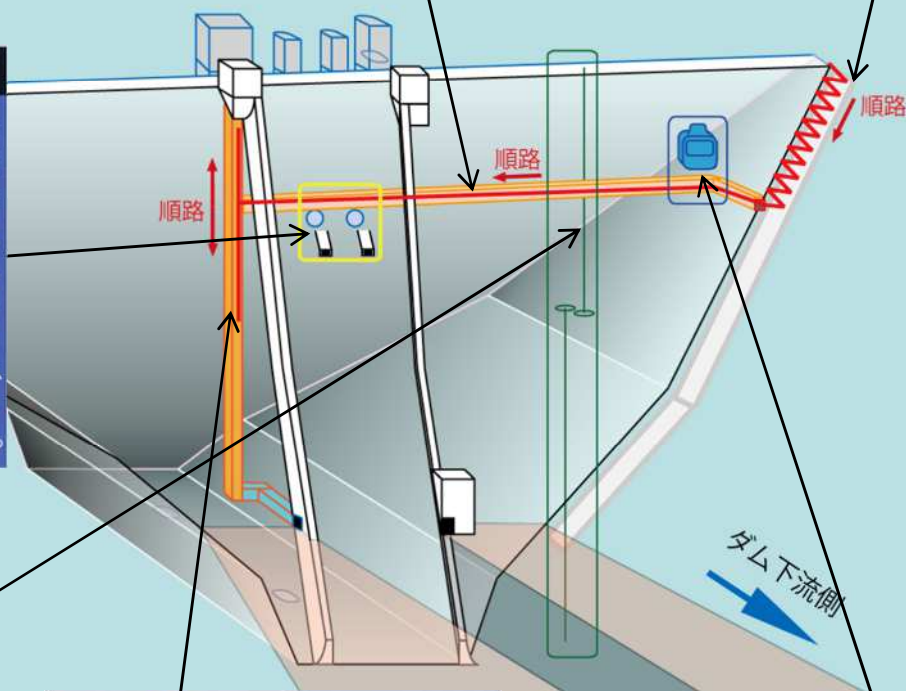


ダム堤体内部には2基のエレベータが設置されており、放流設備などの機器の交換や、点検等の維持管理に利用されています。そのうち1基のエレベータは、ダムの体験学習を目的として一般見学者も利用できます。

■ 点検用モノレール



宮ヶ瀬ダムは巨大なダムなので、点検を効率良くおこなうために、堤体内部には4人乗りの点検用モノレールが設置されています。これによって広いダム内部をじっくりと点検することができます。



宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館 2階

水辺のコンサート

令和5年7月23日(日曜日)

① 11:30~12:00

② 13:00~13:30

開催場所：宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館
(TEL 046-281-5171)

《出演》
琴平 メイ (ハープ)

